

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和7年8月21日
袋井市長定例記者会見資料
環境水道部廃棄物対策課

使用済み紙おむつ再利用化に向けた実証と排出量の実態調査

～「5330運動」紙ごみ減少の可能性を探る～

解禁：8月25日（月）午後1時

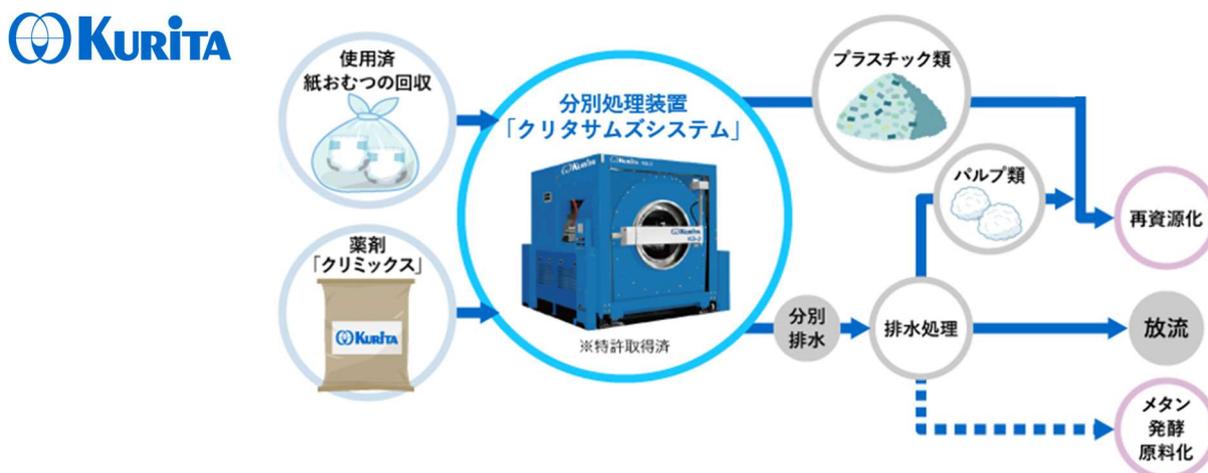
◇本市は、家庭から出る可燃ごみの量を2030年度（令和12年度）までに基準値（17,102t）から30%（5,130t）削減することを目指す「5330運動」に取り組んでいる。

◇可燃ごみ全体の削減は堅調に進むなか、紙類が増加している。紙おむつが紙類の多くを占めていると見込まれるため、使用済み紙おむつの再資源化の有効性や、可燃ごみに含まれる使用済み紙おむつの量を測る調査を行う。

【使用済み紙おむつの再資源化実証事業の概要】

- 1 事業期間 2025年(令和7年)10月～2026年(令和8年)1月
- 2 内容 病院や介護施設、保育所等で回収した使用済み紙おむつについて栗田工業(株)の技術(クリタサムズシステム)を用いてプラスチック類、パルプ類等に分離処理し、再資源化することの有効性を確認する。
- 3 事業費 600万円 ※県補助金 補助率10/10 9月補正予算計上

■クリタサムズシステムにより実現する紙おむつリサイクルフロー



【可燃ごみに占める使用済み紙おむつの実態調査の概要】

- 1 事業期間 2025年(令和7年)10月
- 2 内容 回収した可燃ごみについて使用済み紙おむつがどれだけを占めているかを測定する組成調査を行う。
- 3 事業費 180万円 ※国庫補助金 補助率10/10 9月補正予算計上

【お問い合わせ先】

袋井市 環境水道部 廃棄物対策課 ごみ減量推進係（担当：幡鎌）
電話：0538-84-6057 FAX：0538-44-3185 メール：genryou@city.fukuroi.shizuoka.jp